



プレスリリース

特集陳列「二体の大日如来像と運慶様の彫刻」  
うんけいよう

2008年7月10日(木)～9月21日(日)本館12室



重要文化財 大日如来坐像 鎌倉時代・12世紀  
像高31.3 cm 栃木・光得寺蔵



大日如来坐像 平安～鎌倉時代・12世紀  
像高61.6 cm 東京・真如苑蔵

胸の前で智拳印を結ぶこの2体の像は密教の中心尊像である金剛界大日如来像です。ともに厚みがある堂々とした上半身、頬や顎の肉付きのよい面貌、また、髻や衣の表現などが運慶の作品と共通します。運慶(?～1223)は、鎌倉時代の彫刻様式の根幹を築いた、日本彫刻史上最も重要な作家です。

栃木県足利市・光得寺蔵の大日如来像は、同市の樺崎(かばさき)町にあった樺崎寺に伝来したと推定されるものですが、運慶の作風が顕著なもので、建久年間(1190～99)末頃の運慶作品と考えられています。2体の像は、作風だけではなく細部の技法やX線写真によって確認される像内納入品にもいちじるしい共通性がみられます。足利市の古刹鑊阿寺(ばんなじ)の文書には、光得寺像にあたる像とともに、樺崎寺下御堂(しものみどう)に建久4年(1193)の願文がある厨子に納められた三尺大日如来像があったことが記されており、北関東に伝わったといわれる東京・真如苑蔵の像は、それにあたる可能性が指摘されています。

このたび、御所蔵者のご理解を得て、二体の大日如来坐像を中心とする特集陳列を開催いたします。多くの方々にご覧いただければ幸いです。

## ■特集陳列「二体の大日如来坐像と運慶様の彫刻」展示作品リスト

四天王眷属立像 東方天眷属 康円作 鎌倉時代・文永4年(1267) 東京国立博物館蔵  
四天王眷属立像 南方天眷属 康円作 鎌倉時代・文永4年(1267) 東京国立博物館蔵  
重要文化財 十二神将立像 巳神 伝浄瑠璃寺伝来 鎌倉時代・13世紀 東京国立博物館蔵  
大日如来坐像 平安～鎌倉時代・12世紀 東京・真如苑蔵  
重要文化財 大日如来坐像 鎌倉時代・12世紀 栃木・光得寺蔵  
阿弥陀如来坐像 鎌倉時代・12世紀 静岡・願生寺蔵  
十二神将立像 巳神 鎌倉時代・12～13世紀 神奈川・曹源寺蔵  
十二神将立像 戌神 鎌倉時代・12～13世紀 神奈川・曹源寺蔵

## ■大日如来坐像の像内納入品について

運慶の作品には納入品として五輪塔・舍利・心月輪の3つの要素を備えるものが多くみられるが、大日如来像の納入品はそれらを完備しているらしいことが、X線写真から推定される。

■7月6日(日)まで大日如来坐像(東京・真如苑蔵)を本館11室にて展示中

### 写真貸出しについて

#### ※展示の紹介をしていただける場合

- ・ご所蔵者の書面による許可書を添えて当館広報室にお申し込みください。

#### ※上記以外の目的で写真をご利用いただく場合

- ・東京国立博物館資料館画像利用受付カウンター(TEL 03-3822-1212 FAX 03-3822-1358)にお申し込みください。ご利用はご所蔵者の書面による許可書が必要で、有料です。

開館時間:9:30～17:00。ただし7月4日から8月15日までの金曜日および9月19日(金)は20:00、土・日・祝日は18:00(入館は閉館の30分前まで)

休館日:毎週月曜日。ただし7月21日、8月11日、9月15日は開館、7月22日、9月16日は休館。

観覧料:一般600円(500円)、大学生400円(300円)※( )内は20名以上の団体料金。※高校生以下、満70歳以上の方は無料です。入館の際、年齢のわかるものをご提示ください。※障害者とその介護者1名の入館は無料。入館の際に障害者手帳などをご提示ください。※9月15日(月・祝)「敬老の日」は平常展の無料観覧日です。※特別展は別途観覧料が必要です。

交通のご案内: JR上野駅公園口・鶯谷駅南口から徒歩10分/東京メトロ上野駅・根津駅、京成電鉄京成上野駅から徒歩15分  
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

ホームページ:<http://www.tnm.jp/> お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル)

◆お問合せ先◆ 東京国立博物館広報室 立道 遠藤 小林  
TEL:03-3822-1111 FAX:03-3822-2081 e-mail pr@tnm.jp